

# DAIFUKU

Always an Edge Ahead

# VR LAB

Visualize | Simulate | Experience



弊社総合展示場「日に新た館」株主さま見学会

株式会社ダイフク

# BUSINESS REPORT

第102期 第2四半期報告書

平成29年4月1日～平成29年9月30日

証券コード 6383



代表取締役社長  
北條 正樹

## 過去最高の受注・売上・利益 年間配当62円を予定

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～9月30日)における当社グループの業績は順調に推移し、受注・売上・利益ともに、同期間としては過去最高となりました。

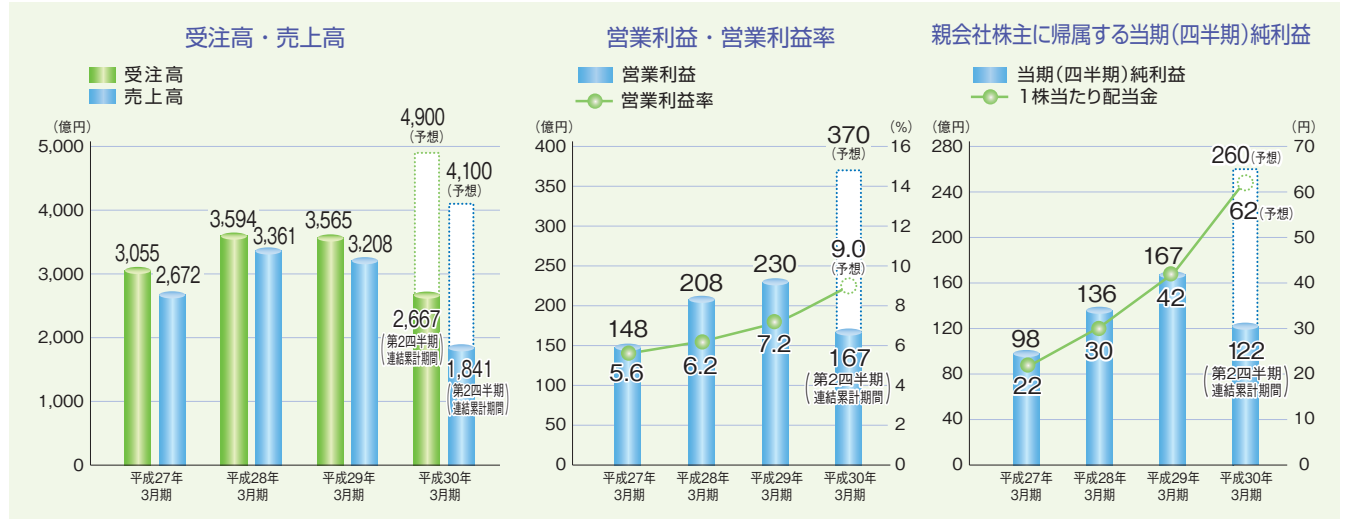
受注は、アジアの半導体・液晶パネル業界の意欲的な設備投資がけん引役になり、eコマース関連の配送センターへのニーズが世界的に活発かつ大規模化していること、自動車工場向けや空港向けシステムも順調であることも相まって、非常に高い水準となりました。

このような成長業種のお客さまに最適なソリューションを広く提供できるマテリアルハンドリングシステム企業は世界に類がなく、幅広い製品ラインアップ、お客さまニーズに即応した提案力、グローバル展開力、大型案件の遂行能力、アフターサービス力などが受注の決め手になっています。

売上は、豊富な受注残をベースに堅調に推移しました。この結果、受注高2,667億円、売上高1,841億円となりました。

利益は、主としてダイフク単体の増収と原価改善などによる大幅な収益力向上がけん引しました。営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期比60%以上と大きく伸び、それぞれ167億円、174億円、122億円となりました。

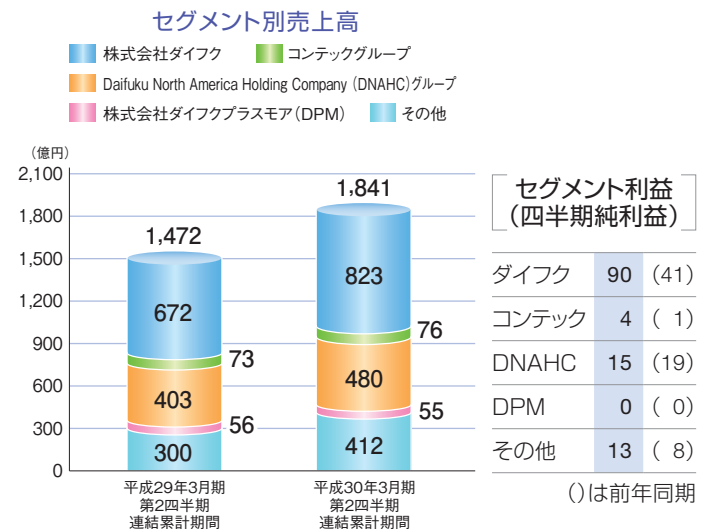
## 財務ハイライト



当期間までの順調な業績に加え、下期も好調な受注を背景に、売上・利益が伸びる見込みのため、今期通期の業績予想を変更し、受注高4,900億円、売上高4,100億円、営業利益370億円としました。

株主さまへの利益還元策は連結配当性向30%、成長投資による企業価値向上を方針としており、順調な業績を踏まえ、中間配当を25円と決議し、期末配当予想も37円に修正しました。前回予想から5円ずつ引き上げ、年間配当は62円の予定です。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



※売上高の総額は連結調整後の数値です。

総資産

3,249億47百万円

受取手形・完成工事未収入金等の売上債権が増加しました。



純資産

1,525億64百万円

利益剰余金が増加しました。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)	前連結会計年度 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	241,510	222,468
固定資産	83,437	81,071
有形固定資産	34,823	33,586
無形固定資産	14,473	15,430
投資その他の資産	34,140	32,054
<b>資産合計</b>	<b>324,947</b>	<b>303,540</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	128,867	126,067
固定負債	43,515	35,132
<b>負債合計</b>	<b>172,383</b>	<b>161,199</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	145,268	136,694
資本金	15,016	15,016
資本剰余金	15,915	15,915
利益剰余金	115,926	107,349
自己株式	△ 1,589	△ 1,586
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>3,935</b>	<b>2,398</b>
その他有価証券評価差額金	5,350	4,290
繰延ヘッジ損益	△ 65	△ 5
為替換算調整勘定	5,027	5,102
退職給付に係る調整累計額	△ 6,375	△ 6,989
<b>非支配株主持分</b>	<b>3,360</b>	<b>3,247</b>
<b>純資産合計</b>	<b>152,564</b>	<b>142,340</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>324,947</b>	<b>303,540</b>

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	184,154	147,264
売上原価	147,254	116,602
<b>売上総利益</b>	<b>36,900</b>	<b>30,661</b>
販売費及び一般管理費	20,188	20,453
<b>営業利益</b>	<b>16,711</b>	<b>10,208</b>
営業外収益	950	833
営業外費用	224	788
<b>経常利益</b>	<b>17,437</b>	<b>10,253</b>
特別利益	60	60
特別損失	44	86
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>17,453</b>	<b>10,228</b>
法人税、住民税及び事業税	5,269	2,936
法人税等調整額	△ 197	158
法人税等合計	5,071	3,095
<b>四半期純利益</b>	<b>12,381</b>	<b>7,133</b>
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,233	7,072
非支配株主に帰属する四半期純利益	148	61

連結キャッシュ・フロー計算書

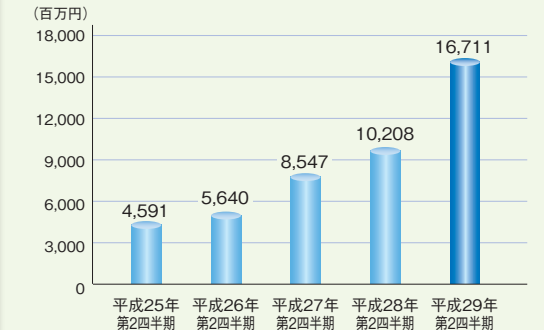
(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,727</b>	<b>5,267</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,829	△ 2,976
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,633	△ 3,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 81	△ 4,134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,817	△ 4,961
現金及び現金同等物の期首残高	64,790	49,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,973	44,122

営業利益

167億11百万円

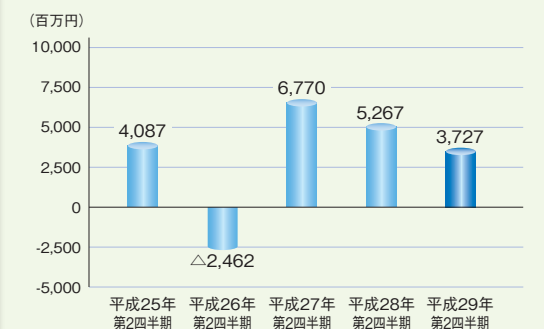
ダイフク単体の増収や原価改善などによる大幅な収益力向上がけん引しました。



営業活動によるキャッシュ・フロー

37億27百万円

税金等調整前四半期純利益、仕入債務が増加しました。



## 中国の集中投資で花開く先行開発 ～フラットパネルディスプレイ向けシステム～

当社グループは、フラットパネルディスプレイ (FPD) 生産ライン向けに搬送・保管システムを提供しています。日進月歩の技術革新を見据えて先行開発を積み重ね、FPDの普及を陰で支えてきました。

特に最先端工程における当社システムへの信頼は厚く、大型液晶パネル向けや、高クリーン度が求められる工程の受注確率は高くなっています。

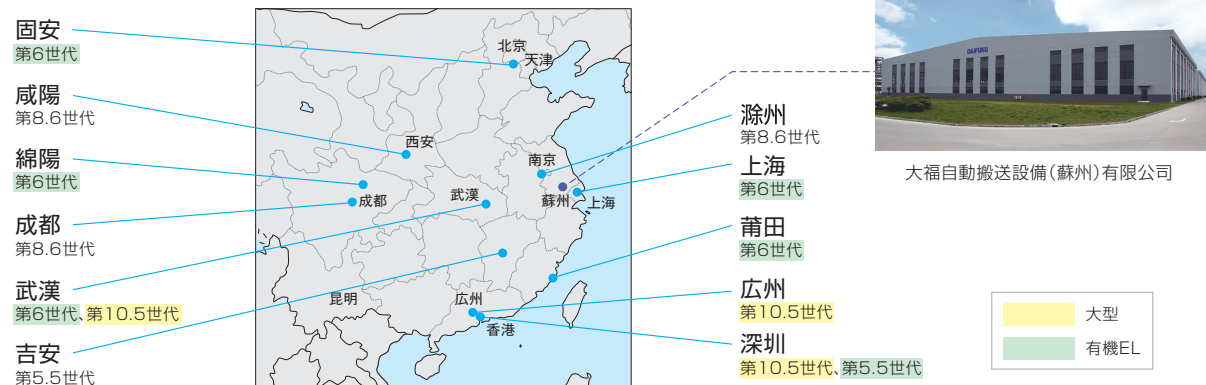
### ポイント 1 グローバル対応 東アジア4工場が連携

お客さまは海外が中心で、同システムにおける当社の海外売上高比率は9割を超えています。

初期のFPD生産は日本が主体でしたが、その後、韓国・台湾が躍進しました。さらに、2009年頃に中国がFPD国産化を目指す方針を定め、昨年から集中的に工場を建設しています(図1)。活況な投資を背景に、今期の受注状況は好調です。

当社はグローバルに構築した営業・生産・サービス体制が強みで、日本・韓国・台湾・中国4カ国の拠点が連携しています。また、マザー工場である滋賀事業所ではコア製品を開発・供給しており、Made in Japanブランドの品質はご好評をいただいています。

(図1) 中国のFPD工場投資計画



### ポイント 2 大型化対応 極薄6畳大のガラス基板をやさしく搬送

テレビは年々大型化し、平均サイズは40インチまで大きくなりました。一枚のガラス基板から大型かつ多数のテレビパネルを作るため、この10数年でガラス基板のサイズは最大で約7倍(約6畳大)になりました(図2)。

搬送設備も当然大型化するため、重量増に伴う強度アップや、各駆動系ユニット強化が必要です。

加えて、ガラス基板は0.3~0.5ミリと極めて薄く、大型化に伴いたわみも増します。ガラス基板が入ったカセットの移載には低振動が特に要求され、強度だけでなくやさしく搬送する能力も不可欠です。

### ポイント 3 高クリーン度対応 高精細、有機ELで難易度アップ

現代人の必需品となったスマートフォンは高精細パネルが使われています。また、最近ではスーパーハイビジョンと呼ばれる8Kテレビが開発され、話題になっています。

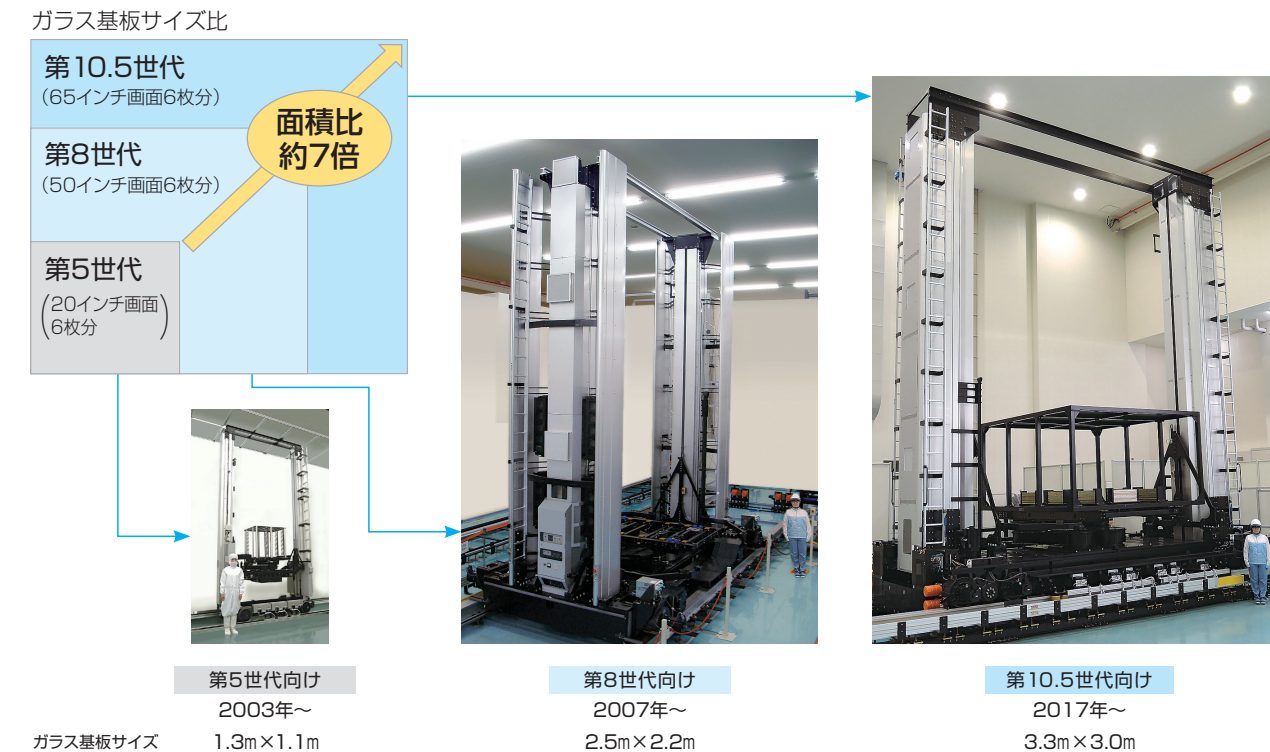
これらは従来の液晶に比べ、空気中のわずかな塵が混入するだけで不良品になってしまうため、生産ラインには非常に高いクリーン度が要求されます。

また、現在は有機EL工場も続々と計画中であり、液晶にはない工程に向けたシステムを開発中です。

当社は蓄積した知見・ノウハウをベースに、絶えず開発を継続し、低振動・高クリーン度のニーズを満たす高品質システムを提供してきました。

今後も開発重視の姿勢を貫き、次々に生まれるニーズにお応えし続けていきます。

(図2) ガラス基板大型化に伴う当社製品「クリーンストッカー」の変遷



## グローバル拠点を相次いで強化

### Daifuku (Thailand) Ltd.

ASEAN地域の一般製造業・流通業向け事業拡大に向けて、生産能力増強のためピントン第2工場を新設しました。(2017年4月)



僧侶を招いて行った開所式

### Hallim Machinery Co., Ltd.

韓国で洗車機事業を行う同社は、ここ数年の需要増により工場が手狭になったことから、本社兼工場をファンソン市に移転しました。(2017年9月)



開所式での北條社長による挨拶

### Daifuku Mechatronics (Singapore) Pte. Ltd.

納入事例を見たいというご要望を多くいただいたことから、ショールーム兼パーツセンターを新設しました。(2017年4月)



ケース自動倉庫と半導体工場向け搬送装置の展示

### Daifuku North America Holding Company

建物老朽化のため、本社を移転しました(ミシガン州)。開所式では、来賓のRick Snyderミシガン州知事より祝辞をいただきました。(2017年10月)



無人搬送車「SmartCart」と非接触充電システム「D-PAD」の展示

## 発行体格付「A」へ格上げ

2017年10月、(株)格付投資情報センターによる当社発行体格付が「A-」(シングルAマイナス)から「A」(シングルAフラット)に格上げされました。2007年6月に「BBB+」(トリプルBプラス)から「A-」となって以来、10年ぶりの格上げです。

当社は、「格付の維持・向上」を長年の目標としてきました。収益性(営業利益率)向上・自己資本(純資産)増強により、財務体質を強化できたことが認められ、格上げにつながりました。

特に自己資本は、2013年に転換社債を発行し、2015年にすべての株式転換が完了しました。これにより、資本金を80億円から150億円へ増資しました。

	更新前	更新後
発行体格付	A- (シングルAマイナス)	A (シングルAフラット)
格付の方向性	ポジティブ	安定的

### 「JPX日経インデックス400」に継続選定

2017年8月、当社は昨年に引き続き、東京証券取引所と日本経済新聞社が共同で開発・運営する株価指数「JPX日経インデックス400」に選定されました。

## 洗車機生産 40周年を迎える

当社は、1977年に洗車機生産を始め、2017年9月に40周年を迎えました。この間、販売・アフターサービス体制も整え、事業を拡大してきました。

物流システムで培った技術を生かし、マイコン、ローラコンベヤなどを取り入れ、常に業界をリードする開発を行ってきました。「高い洗浄能力」「処理スピードが速い」「環境にやさしい」などの機能を持つさまざまな機種を提供しています。

これからも、市場のニーズに素早く対応し、満足していただける製品や洗車ノウハウを提供し続けていきます。



トラック・バス用の新製品「CAMION Custom」

## 第10回 株主さま向け「日に新た館」見学会

10月6日・20日に株主さま向け「日に新た館」見学会を開催しました。東は茨城から西は福岡まで、200名を超える方々にご参加いただきました。

最初に北條社長、猪原副社長よりダイフクグループの事業概況や中期経営計画、配当政策などをご説明しました。日に新た館で当社の主要製品をご覧いただき、新たに設置した「VR LAB」にて、ダイフクの80年の歩みを振り返る映

像をバーチャルリアリティ体験していただきました(表紙写真)。また、納骨堂システムや、コンテックブースにてIoT関連の製品をご覧いただきました。

日頃なかなか見ることのできないマテリアルハンドリングシステムを直接ご覧いただき、当社への理解をより一層深めていただきました。



北條社長のプレゼンテーション



コンテックのIoT関連製品について説明

## 個人投資家さま向けIRイベント出展のご案内

平成30年3月、個人投資家さま向けIRイベント「東証IRフェスタ2018」(入場無料)に出展いたします。多数のご来場をお待ち申し上げております。

名称：「東証IRフェスタ2018」  
www.tse-irfesta.com

開催日時：平成30年3月16日(金)・17日(土) 10:00-18:00

場所：パシフィコ横浜 展示ホールB

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

※当社ブース番号等の詳細は、追って当社ホームページ(www.daifuku.com/jp/ir)にてお知らせいたします。

## 社是 Company Creed

今日の「われ」は  
昨日の「われ」にあらず  
明日の「われ」は  
今日の「われ」にとどまるべからず

Today we are doing better  
than we were yesterday.  
Tomorrow we will be growing  
ahead of where we are today.



Hini Arata

## 経営理念 Management Philosophy

1. 最適・最良のソリューションを提供し、世界に広がるお客さまと社会の発展に貢献する。
  2. 自由闊達な明るい企業風土のもと、健全で成長性豊かなグローバル経営に徹する。
1. Provide the best solutions to benefit the global markets and the development of society.
  2. Focus on healthy, growth-driven global management under a diverse and positive corporate culture.

## 会社概要

(平成29年9月30日現在)

商号	株式会社ダイフク
設立	1937年(昭和12年)5月20日
資本金	15,016,105,168円
代表者	代表取締役社長 北條 正樹
従業員数	8,890名(グループ総数)
主要拠点	本社 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11 TEL：06-6472-1261(代)
	東京本社 〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング TEL：03-6721-3501(代)
事業所	
	滋賀 〒529-1692 滋賀県蒲生郡日野町中在寺1225 TEL：0748-53-0321(代)
	小牧 〒485-8653 愛知県小牧市小牧原4-103 TEL：0568-74-1500(代)
支店	北海道、東北、新潟、北関東、東京、藤沢、静岡、名古屋 東海、北陸、大阪、中国、九州
海外	支店や現地法人を23の国と地域に展開しています。

## 役員一覧

(平成29年9月30日現在)

代表取締役社長	北條 正樹
代表取締役副社長	田中 章夫
代表取締役副社長	猪原 幹夫
取締役専務執行役員	本田 修一
取締役常務執行役員	岩本 英規
取締役常務執行役員	中島 祥行
取締役常務執行役員	佐藤 誠治
取締役常務執行役員	下代 博
取締役	柏木 昇
取締役	小澤 義昭
常務執行役員	井狩 彰
常務執行役員	木村 正
常務執行役員	阿武 寛二
常務執行役員	岸田 明彦
常務執行役員	堀場 義行
執行役員	佐々木 健
執行役員	信田 浩志
執行役員	林 智亮
執行役員	上本 貴也
執行役員	西村 章彦
執行役員	一之瀬 善久
執行役員	権藤 卓也
執行役員	三品 康久
執行役員	喜多 浩明
執行役員	鳥谷 則仁
監査役(常勤)	黒坂 達二郎
監査役(常勤)	木村 義久
監査役	北本 功
監査役	鳥井 弘之
監査役	相原 亮介

(注)取締役 柏木昇、小澤義昭は、社外取締役であります。  
監査役 北本功、鳥井弘之、相原亮介は、社外監査役であります。

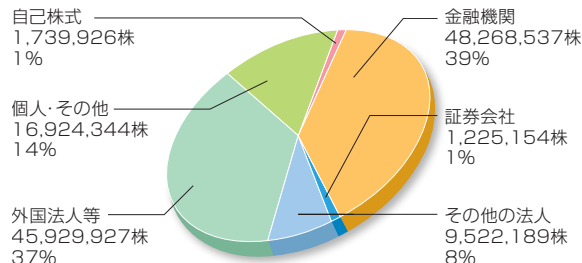
## 株式情報

(平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数	250,000,000株
発行済株式総数	123,610,077株
株主数	16,151名

\*前期末より株主数が2,350名増加いたしました。

### 所有者別分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス <a href="http://www.daifuku.com/jp/ir/stock/notice/">http://www.daifuku.com/jp/ir/stock/notice/</a>

上場証券取引所	東京第1部
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

## 第102期 中間配当金のお支払いについて

第102期中間配当金は、平成29年11月10日開催の取締役会にて、1株につき25円と決議しております。同封の「配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局（銀行代理業者）で払渡期間（平成29年12月5日から平成30年1月5日まで）にお受け取りください。

なお、振込先をご指定の方には「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

また、株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関（証券会社等）へお問合せください。

## 配当金計算書について

配当のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。「配当金領収証」にて配当金をお受け取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。

なお、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にて確認をお願いいたします。

(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

### 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主さまは、上記電話照会先までご連絡ください。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）をご利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

**DAIFUKU**  
Always an Edge Ahead

### 株式会社ダイフク

本社：〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11 TEL：06-6472-1261(代)  
東京本社：〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング TEL：03-6721-3501(代)  
[www.daifuku.com/jp](http://www.daifuku.com/jp)